

高橋JTB社長・大西JTB旅ホ連会長 対談

JTBの宿泊販売4500億円の達成に向けて堅い握手を交わす



「ならではの価値」創造を

宿泊業界に力を貸してほしい サイトの改善で販売力強化

「宿泊販売に向けて旅ホ連が施設はそれなりにできるだろう。JTBに要望する」とは、大西 高橋社長が以前から「JTBは旅行業を核としてソリューショントラベラーを育てる」と言われていたが、われわれのなかで、その真意の理解が進んだ。法人顧客へのソリューションビジネスでは、新しい試みの中から、新しい層のお客さまの開拓が進むという期待を持っている。他の旅行会社とは違っていた。JTBならではの顧客開拓を期待している。

もう一つのポイントは、われわれが宿泊業のさまざまな課題の解決に向けて、JTBに力を貸してほしいという要望だ。大きな課題は、宿泊業に対するソリューションビジネスを展開してほしいと願っている。

一つは、外国人労働者のルール変更への対応も含めた、人手不足に関するさまざまな課題の解決だ。もう一つは、われわれの業界でできる、そのマーケットは、JTBにとって「1」のソリューションビジネスの強化に向けて、特に労働生産性の向上に対する課題解決に力を貸してほしい。もちろん、旅館・ホテルが自分たちで努力し、旅ホ連会員との関係性を高めなければならない問題だ。大きな課題は、人手不足解消の方向に進む必要がある。宿泊業にさまざまなノウハウを持つJTBに期待が込められている。旅ホ連は、旅ホ連の代表者として、JTBに協力してほしいと願っている。

旅ホ連は、人手不足解消の方向に進む必要がある。宿泊業にさまざまなノウハウを持つJTBに期待が込められている。旅ホ連は、旅ホ連の代表者として、JTBに協力してほしいと願っている。

高橋 この問題はわれわれも十分にホテルを稼働できない。とて、中小の施設では自分たちだけでやるには限界がある。一例を挙げると、OTAやIoT化では、大抵の旅行会社も、悲鳴を上げる。手元の通信会社から提示される金額は、宿泊業にとってゼロが一つ聞くと、問題にわたる。人手不足は、ベンチャー企業に比べて、問題にわたる。人手不足は、ベンチャー企業に比べて、問題にわたる。人手不足は、ベンチャー企業に比べて、問題にわたる。

高橋 この問題はわれわれも十分にホテルを稼働できない。とて、中小の施設では自分たちだけでやるには限界がある。一例を挙げると、OTAやIoT化では、大抵の旅行会社も、悲鳴を上げる。手元の通信会社から提示される金額は、宿泊業にとってゼロが一つ聞くと、問題にわたる。人手不足は、ベンチャー企業に比べて、問題にわたる。人手不足は、ベンチャー企業に比べて、問題にわたる。

大西 昨年、高橋社長に「地方には魅力的な小規模旅館などをJTBと関係の薄いところを結構ある。そういう宿も旅ホ連の仲間として一緒に取り組む」という話をした。さあ、JTBが取り組んでくれる。すでに一定の成果も表れているのでお礼を申し上げます。

高橋 われわれがリーチできていない小規模旅館をしっかりとサポートしていかねばならない。という課題意識は十分持っていた。大西社長に問題提起していただいたから動き出した。ありがとうございます。

大西 JTBの新国内個人旅行システムについて説明を受けた。提供在庫をいろいろな形でしっかりと消化する。リアルユーザーの仕組の殻を破った仕入れ、売り方の大改革。もちろん段階的に進めるのだが、仕入れの部分にも改革を進めているのは、われわれは元気づけられるし、宿泊業も力を得る。

高橋 宿泊の仕入改革はわれわれにとっても死活問題なので改革は当然のことだ。それに伴って販売の拡大に結び付けていきたい。

最後に、6月12日のJTB

JTBと旅ホ連は運命共同体だ

高橋▲ 大西▼

「充実した支部の活動」が組織の礎

旅ホ連総会に向けて、意気込みや会員へのメッセージを。高橋 常々言っていることだが、われわれJTBと旅ホ連は運命共同体だ。宿泊施設側からすると、今やJTBに客室を提供すれば売れる時代ではない、われわれも在庫を持って売れる時代ではない。これを共通認識として持つておかねばならない。売れる商品、お客さまに評価いただける商品をお互いに知恵を出し合って作っていく。これが、これからの連携の最重要テーマだ。今後とも一緒に考えて、汗をかきながらWIN&WINの関係を作りたい。

もう一つ、今年4500億円に再チャレンジし、達成できるように最大限努力していく。

大西 「充実した支部の活動」が旅ホ連組織の礎と考える。その支部活動を陰で支えて下さる支部幹事、支店の業務課長の皆さん、力添えをいただいているすべてのJTBの皆さんにもこの場を借り、改めて感謝したい。

時代が大きく変わってゆく中、旅ホ連の活動も前例の踏襲ではなく、進化していかなくてはならない。支部長、支部会員の皆さんと共に、1000億の目標達成に向けて、今年度もさらなる活動の充実を目指し、引き続きの協力をお願いしたい。

しらさぎ 白鷺

日本最大級の屋形船

全席堀ごたつ

136名 着席可能

都内7カ所から乗船可能
豪華絢爛な船内で楽しむ
「浮かぶ料亭」でのひととき

和食の達人が
毎朝手づくりする
彩り豊かな日本料理

バイリンガル船頭・
日本文化を楽しめる江戸芸人さん
言葉の壁を越えて
皆様お楽しみいただけます